



安全データシート (SDS)

作成 2026年8月3日

1. 製品及び会社情報

製品名	ミズカエル
会社名	有限会社フジワラボーリング工業
住所	千葉県松戸市二十世紀ヶ丘梨元町43-8
担当部門	知的財産部 知財課
緊急連絡先	TEL 047-711-7674 FAX 047-711-7675

2. 危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性（経皮）	: 区分 4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 1
発がん性	: 区分 1B
生殖細胞変異原性	: 区分 1B
皮膚感作性	: 区分 1
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: 区分 2（甲状腺）

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起後 : 危険

危険有害性情報

H312 皮膚に接触すると有害
H317 アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある
H318 目に重篤な損傷を引き起こす
H340 遺伝的欠陥を引き起こす可能性がある
H350 がんを引き起こす可能性がある
H373 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害

注意書き

安全対策

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 安全上の注意事項をすべて読んで理解するまで取り扱わないこと。
P260 粉塵/煙/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 取り扱い後は、手洗い、洗顔、うがい等を十分に行うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/防塵マスク等を着用すること。

応急措置

P310 直ちに医師に連絡すること。
P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。
P314 気分が悪い場合は、医師の診察を受けてください。
P321 特別な処置が必要である（このラベルの「4 応急措置」を見よ）。
P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
P305+P351+P338 目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P308+P313 暴露または懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。
P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。

保管

廃棄

P501 内容物/容器を/国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 淡い灰色粉末
臭い	: なし
pH値	: 7～8 (0.1%水溶液)
沸点	: 該当しない
引火点	: 該当しない
燃焼又は爆発範囲	: 該当しない
蒸気圧	: 該当しない
比重	: 約0.84
溶解度	: 水に難溶
自然発火温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	: 次亜塩素酸塩類（次亜塩素酸ソーダ・漂白剤・サラン粉・カルキ等）と混合、接触すると有害な塩素ガスを発生する。
避けるべき条件	: 特になし
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	: データなし
呼吸器又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性、単回暴露	: データなし
特定標的臓器毒性、反復暴露	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 魚毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄の際は「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」等の関係法令を遵守する。
汚染容器及び包装	: 水洗いした後、適切に廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当しない
品名（国連運送名）	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
国内規制	
陸上輸送	: 該当しない
海上輸送	: 該当しない
航空輸送	: 該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 取扱い及び保管上の注意を守り、包装袋の破袋及び水濡れに注意する。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 施行令第18条、別表第9 「アルミニウム水溶性塩」
(表示対象物、通知対象物、リスクアセスメント対象物)

化学物質排出把握管理促進法 (PRTP法)、水質汚濁防止法、毒物劇物取扱法、消防法、高圧ガス安全法
海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 : 該当しない

16. その他の情報

引用文献

- 1) 日本産業衛生学会雑誌 許容濃度等の勧告 (2015)
- 2) ACGIH-化学物質と物理因子のTLV・化学物質のBEI (2010)
- ・独立行政法人製品評価技術基盤機構 化審法データベース
- ・経済産業省、厚生労働省「GHS」に基づく化学品の危険有害性情報の伝達
- ・厚生労働省医薬食品局 GHS対応ラベル及びSDSの作成マニュアル
- ・その他社内資料

本安全データシート (SDS) の記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、新しい知見等により改訂されることがありますので、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので特別な取扱いをする場合は用途、用法に適して安全対策を実施の上お取り扱い願います。不明な点等はお問い合わせ下さい。